

和歌山県精神保健福祉センター所報

平成21年度

和歌山県精神保健福祉センター

はじめに

ここに、平成21年度版和歌山県精神保健福祉センター所報をお届けいたします。本所報には、平成21年度に和歌山県精神保健福祉センターが実施した事業の実績がまとめられています。関係者の皆様にご一読をいただき、ご助言をいただければ幸いです。

当センターでは、前年度に引きつづき自殺対策、学校緊急支援（クライシスレスポンスチーム派遣）、ひきこもり支援を重点事業として実施してまいりました。

自殺対策では、平成21年9月に「和歌山県自殺対策情報センター」が当センター内に設置され、従来からの一般公開講座、人材養成研修、自死遺族相談にくわえて、県内の関係機関の専門家で構成される専門部会を設置し、自殺予防から遺族支援に関する地域ネットワークづくりの取り組みも始められました。県内の機関と人材を活用しながら、自殺予防へ向けたなお一層の努力を続けていきたいと考えています。

学校緊急支援については、平成21年度は1回の出動実績でしたが、引きつづき様々な機関の専門職の方々に隊員となっただき、基礎研修および実践研修を積み重ねながら危機対応に備えているところです。

ひきこもり支援についても平成21年8月に「ひきこもり地域支援センター」が当センター内に設置され、より一層の支援体制の強化がはかられました。ひきこもりに関する相談体制を充実させるとともに、地域における具体的な支援を拡げていくべく、活動を進めていく所存です。

今後とも、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますよう心よりお願いいたします。

平成22年10月

和歌山県精神保健福祉センター

所長 小野 善郎

目 次

I センターの概要

1. 沿革	-----	1
2. 業務の概要	-----	1
3. 職種別職員構成	-----	2
4. 施設の概要	-----	2

II 平成21年度 事業実績

1. 技術指導・技術援助	-----	3
2. 教育研修	-----	5
3. 普及啓発	-----	7
4. その他の事業	-----	9
5. 自殺対策情報センター事業	-----	10
6. ひきこもり地域支援センター事業	-----	12
7. こころのレスキュー隊事業	-----	14
8. 精神保健福祉相談	-----	16
9. 医療・福祉関係事務		
(表1) 精神医療審査会の審査に関する事務	-----	18
(表2) 精神障害者保健福祉手帳所持者数	-----	19
(表3) 精神障害者福祉手帳疾病別交付状況	-----	19
(表4) 自立支援医療(精神通院)受給者証交付状況	-----	20

III 添付資料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧	-----	21
--------------------	-------	----

I 和歌山県精神保健福祉センターの概要

- 1 沿革
- 2 業務の概要
- 3 職種別職員構成
- 4 施設の概要

I センターの概要

1 沿革

精神保健福祉センターは、精神保健福祉法に基づいて、都道府県における精神保健及び精神障害者の福祉に関する総合的技術センターとして、知識の普及を図り、調査研究並びに相談業務を行い、精神保健福祉の関係機関に対する技術指導・技術援助を行うものである。

昭和39年11月 「精神衛生相談所」を和歌山県立医科大学附属病院内設置

昭和56年4月 「精神衛生センター」に名称変更 和歌山県立五稜病院に移転

昭和63年7月 「精神保健センター」に名称変更

平成7年7月 「精神保健福祉センター」に名称変更

平成10年12月 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛に移転

2 業務の概要

(1) 企画立案

地域精神保健を推進するため、県の精神保健福祉主管部局及び関係機関に対し、専門的立場から、社会復帰の推進や、地域の精神保健施策の推進に関する事項等について提案、意見具申等を行う。

(2) 技術指導及び技術援助

地域精神保健福祉活動を推進するため、保健所、市町村等の関係機関に対し、専門的立場から積極的な技術指導及び技術援助を行う。

(3) 教育研修

保健所、市町村等の関係機関で精神保健福祉業務に従事する職員を対象に、その資質の向上を図るため、専門的な教育・研修を実施する。

(4) 普及啓発

一般住民に対し精神保健福祉や精神障害についての知識、権利擁護等について普及啓発を行うとともに、保健所及び市町村が行う普及啓発活動に対して協力、指導及び援助を行う。

(5) 調査研究

地域精神保健福祉活動の推進、精神障害者の社会復帰の促進等に関する調査研究を行い、必要な統計及び資料を収集し、保健所や市町村が行う精神保健福祉活動が効果的に展開できるよう資料を提供する。

(6) 精神保健福祉相談

自死遺族ケア、ひきこもりをはじめとする思春期の特定相談を含め、精神保健福祉全般の相談（特に複雑または困難なもの）を実施する。

(7) 組織育成

家族会、患者会等県単位の組織の育成に努めるとともに、地域単位の組織の活動に協力する。

3 職種別職員構成

	医師	精神保健福祉 相談員	保健師	福祉職	事務職	計
常勤	1	1	2	2	2	8
非常勤	4			1	1	6
計	5	1	2	3	3	14

4 施設の概要

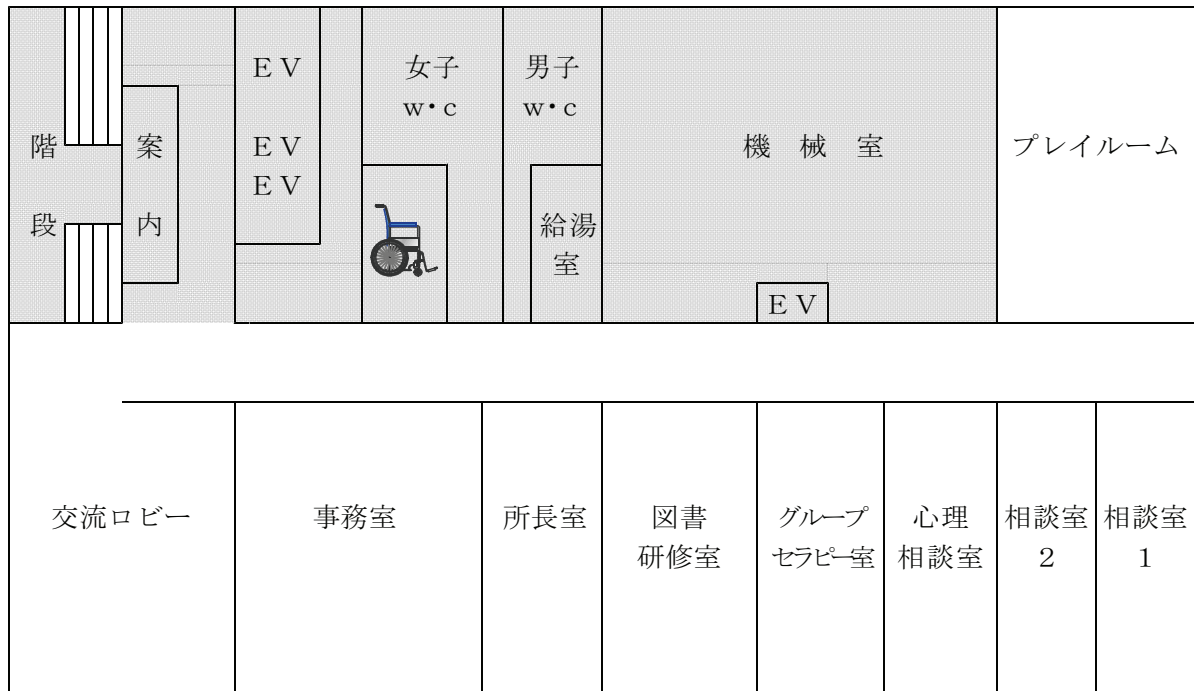
(1) 所在地

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階
 電話 073-435-5194
 FAX 073-435-5193

(2) 建物の状況

12階建て鉄筋コンクリート造り県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階に入居
 占有面積 372.66㎡

(3) 平面図



*EV：エレベーター

Ⅱ 平成21年度 事業実績

- 1 技術指導・技術援助
- 2 教育研修
- 3 普及啓発
- 4 その他の事業
- 5 自殺対策情報センター事業
- 6 ひきこもり地域支援センター事業
- 7 こころのレスキュー隊事業
- 8 精神保健福祉相談
- 9 医療・福祉関係事務

II 平成21年度 事業実績

1 技術指導・技術援助

地域精神保健活動を推進するため、保健所及び関係機関に対し、研修会の講師や会議での助言、大学での学生への講義等の技術指導及び技術援助を行った。

(1)関係機関別・内容別件数

関係機関に対して精神保健福祉に関する技術指導・援助及び組織育成を行った（講演除く）。

関係機関	技術指導・援助の内容別件数（延件数）									
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	思春期	心の健康づくり	ひきこもり	自殺関連	その他	計
保健所			2		1				5	8
市町村				1				1	2	4
福祉事務所										
医療施設			1						1	2
介護老人保健施設			1							1
社会復帰施設	1									1
社会福祉施設									3	3
その他			1	1	2				8	12
計	1	0	5	2	3	0	0	1	19	31

組織育成

	組織育成					
	患者会	家族会	断酒会	職親会	その他	計
支援件数	0	0	0	0	2	2

(2)業務別支援内容等 会議等

内 容	回数
自立支援協議会	4
相談ネットワーク和歌山担当者会議	1
医療観察法ケース会議	15
医療観察制度運営連絡協議会	1
平成21年度薬物中毒対策連絡協議会	1
和歌山県犯罪被害者支援連絡協議会	1
支援困難事例検討会議	1
和歌山薬物依存症からの回復を支援する会会議	3
発達障害者支援に係る実務者連絡会議	1
法テラス和歌山地方協議会	2

(3) 委嘱・委員等

内 容	会議への出席回数
和歌山県社会参加リハビリテーション事業運営協議会委員	2
和歌山県自殺対策連絡協議会委員	1
和歌山県高次脳機能障害支援普及事業検討委員会	1
和歌山県精神科救急医療システム連絡調整委員会委員	1
和歌山県地域生活定着支援事業に関する受託事業者選定委員	1
社会福祉審議会児童福祉専門分科会文化財部会委員	7
和歌山県立医科大学付属病院こころの委員会委員	2

(4) 講演講師等

内 容	対 象	主 催
うつ病と自殺予防について	有田川町民生委員児童委員	有田川町民生委員児童委員協議会
京都府学校危機支援チーム創設に向けた研修	教職員、行政職員他	京都府教育委員会
うつ病について	県在宅保健師の会会員 市町村保健師	県国民健康保険団体連合会
CRTセミナー 「学校、教育委員会の役割」	精神保健福祉関連職員、教職員、行政職員他	全国CRT連絡協議会
和歌山県における精神医療の歴史	精神保健福祉関連関係者、一般	日本病院・地域精神医学会
自殺対策について	美浜町民生委員児童委員	美浜町民生委員児童委員協議会
災害時のこころのケア ～紀の国防災人づくり塾～	一般（於：御坊市）	県総合防災課
災害時のこころのケア ～紀の国防災人づくり塾～	一般（於：橋本市）	県総合防災課
精神保健活動について 「支援者のメンタルヘルス」	保健師・保健福祉担当者	湯浅保健所
メンタルヘルス対策について	海上保安部職員	和歌山海上保安部
京都府学校危機支援チーム発足に関わる講演	教職員、行政職員他	京都府教育委員会
精神障害についての理解	各市町村社協福祉サービス利用 援助事業生活支援員・専門員	県社会福祉協議会
統合失調症の方との関わり方について	県内生活保護担当職員	県福祉保健総務課
自殺対策について	民生委員	広川町民生委員会

(5) 学生等講義

内 容	回 数	実人員
学生等講義（県立医科大学医学部）	1	60
学生等講義（県立高等看護学院）	10	37

2 教育研修

保健所、市町村、社会復帰施設、精神科医療機関、その他の関係機関で、精神保健福祉業務に従事する職員等を対象として、その資質向上を図るために精神保健福祉に関する専門的な研修を実施した。

(1)精神保健福祉関連新任者研修

新しく精神保健福祉業務に従事した者が、精神保健福祉に関する基礎知識を学び、業務に活かしていくことを目的に、業務に従事して概ね5年以内の担当者を対象に2日間にわたり実施した。

※敬称略

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
<u>第1日目</u> H21年6月10日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「精神疾患と精神障害の理解」 講師 精神保健福祉センター 所長 北端 裕司 講義 「精神障害者と人権」 講師 財団法人 信貴山病院ハートランドしぎさん 看護部師長 大谷 須美子	49名
<u>第2日目</u> H21年6月11日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「相談の受け方の実際について」 講師 和歌山大学保健管理センター 心理相談員 森崎 雅好 講義 「障害福祉サービスの提供について」 講師 精神保健福祉センター 副主査 安川 友加里	50名

(2)精神保健福祉従事者専門研修

精神保健福祉業務に従事する職員の技量を高め、精神保健福祉サービスの向上を図ることを目的に、業務に従事して概ね3年以上の担当者を対象に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
<u>第1日目</u> H21年11月10日 ビッグ愛 (和歌山市)	テーマ 「SST中級研修」 講師 ルーテル学院大学 名誉教授 前田 ケイ (SST認定講師)	11名
<u>第2日目</u> H21年11月11日 ビッグ愛 (和歌山市)	同上	11名

(3) 思春期セミナー研修

教育、行政、医療、福祉施設職員等の資質向上をはかることを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H22年1月28日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「拒食症と過食症 ～その理解と対応～」 講師 東京えびすさまクリニック 院長 山登 敬之	82名

(4) 社会復帰関連問題研修

行政、医療、施設等の関係職員を対象に、社会復帰に関する支援の資質向上を目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H22年3月22日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義及び事例検討 講義 「薬物依存の理解と援助」 講師 国立精神・神経センター精神保健研究所 自殺予防総合対策センター自殺実態分析室長 松本 俊彦 講義 「和歌山県立こころの医療センターでの実践」 講師 和歌山県立こころの医療センター 医師 眞城 耕志	33名

※自殺対策、ひきこもり、こころのレスキュー隊関連事業の研修については、後章に掲載する。

3 普及啓発

一般県民や関係機関に対し、精神保健福祉や精神障害についての知識や情報を提供するために、以下のとおり講演会や出版物の作成等、普及啓発を行った。

(1) 講演会

こころの健康講座

地域住民がこころの健康について関心を持ち、自らこころの健康増進を図るための知識の普及を目的に2回開催した。

開催日・会場	テーマ・講師	参加者数
H21年5月25日 田辺地域職業センター (田辺市)	講演 「うつ病を理解しこころの健康を保つ」 講師 和歌山県立医科大学医学部 神経精神医学教室 准教授 鵜飼 聡	67名
H22年1月24日 橋本市民会館 (橋本市)	講演 「うつ病を理解しこころの健康を保つ」 講師 和歌山県立医科大学医学部 神経精神医学教室 准教授 鵜飼 聡	41名

(2) 催し等

①わかやまこころのフェスティバル2009

県民のこころの健康の保持増進と、こころの病を持つ人に対する正しい理解を広めることを目的に開催した（ふれあい人権フェスタと共催）。

開催日・会場	内 容	参加者数
H21年11月21日 ビッグホール (和歌山市)	ステージイベント (1) 「こころがほっとするメッセージ」入賞者表彰式 (和歌山県精神保健福祉協会と共催)	11,600名
H21年11月22日 ビッグホール (和歌山市)	(2) 和歌山県精神保健福祉協会会長表彰式 (和歌山県精神保健福祉協会主催)	
	(3) トーク&コンサート 音楽は魔法だ！「あなたに会えてよかった」 講演者：う～み氏	

②「こころがほっとするメッセージ」

県民にこころがほっとするメッセージを5・7・5の17文字でつづってもらい、こころの健康やゆとりのある生活を見つめなおしてもらおう機会を提供した。

応募総数651点の中から10点を審査の結果、入賞作品として選び、「わかやまこころのフェスティバル2009」で表彰した。

③交流ロビー展(サマーフェスタ2009)

精神保健福祉各関係団体と共同で、団体支援と精神保健福祉についての啓発を目的に開催した。

開催日・会場	内 容	参加者数
H21年8月29日 ビッグ愛 (和歌山市)	精神保健福祉各関係団体による、美術作品や俳句等の展示、手作り菓子や書籍等の販売、アルコールパッチテストの実施 他	1,300名

④精神障害者ソフトバレーボール和歌山県大会(和歌山県精神保健福祉協会主催)

精神障害者がスポーツを楽しむ体力の維持増進をはかることや、仲間とのふれあいを体験する等の社会参加を推進することを目的に実施した。

開催日・会場	内 容	参加者数
H21年10月29日 ビッグホエール (和歌山市)	県内12チームが参加し、優勝から3位チームまでを決定した。	選手・役員等 170名

⑤和歌山県精神保健福祉協会主催講演会

県民への精神保健福祉に関する知識の普及とこころの健康づくり推進のため、和歌山県精神保健福祉協主催で実施した。

開催日・会場	内 容	参加者数
H21年7月13日 ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「いのちのバトンタッチ」 講師 青木 新門	77名

(3) 広報出版物等

①和歌山県精神保健福祉センター便り「わかやま」

関係機関への情報提供と県民への啓発のため、社会復帰施設等の紹介、県内の精神保健福祉の動向、最新情報、和歌山県精神保健福祉センターの研修や講演会の案内等を掲載し、年4回発行した。

	送付先機関	発行部数
第39号(5月)	183	424
第40号(8月)	182	417
第41号(11月)	180	410
第42号(2月)	180	410
合計	725	1,661

②出版物等作成

内 容	部 数
メンタルヘルスガイドブック(改訂版)	15,000部
メンタルヘルスガイドブック(改訂版)別冊	15,000部

③精神保健福祉等に関する図書やビデオの貸し出しをおこなった。

※自殺対策、ひきこもり、こころのレスキュー隊関連事業については、後章に掲載する。

4 その他の事業

・セルフヘルプ交流会「なごみの会」

セルフヘルプグループの方々が発行して行く上での悩みを分かち合い、情報交換することにより、県内にあるセルフヘルプグループの活性化を図ることを目的に開催した。

対 象	セルフヘルプグループの運営を行っている方
場 所	精神保健福祉センター グループセラピー室
開催回数	全6回
参加延数	17名(4グループ)

5 自殺対策情報センター事業

(1) センターの概要

目的 自殺対策の総合的な支援機関として、自殺を考えている者、自殺未遂者及び自殺者の親族等に対する支援の充実を図るため、相談支援、関係機関との連携強化、普及啓発等の情報発信、専門研修による人材育成に取り組む。

開設日 平成21年9月7日
場所 精神保健福祉センター内

(2) 平成21年度 事業実績

・自殺対策啓発

自殺対策シンポジウム(主催:内閣府/和歌山県 共催:白浜町)

開催日・会場	内 容	参加者数
H21年9月27日 コガノイベイホテル (白浜町)	①基調講演 「こころと命を支える地域づくり ～自殺を防ぐためにわたしたちができること～」 講師 関西国際大学人間科学部教授 渡邊 直樹 ②当事者からの報告 こころのカフェきょうと代表 石倉 紘子 ③パネルディスカッション 「つながりの大切さを考える」 コーディネーター 和歌山県立医科大学医学部教授 篠崎 和弘 パネリスト 白浜警察署生活安全刑事課係長 岡垣内 諭 田辺保健所主任 栗田 直嗣 白浜町長 立谷 誠一 NPO法人白浜レスキューネットワーク 理事長 藤藪 庸一	200名

講演会(自殺対策県民向け講座)

開催日・会場	内 容	参加者数
H22年1月24日 プラザホープ (和歌山市)	講演「うつと不安を乗り越えて ～こころの力を育てる方法～」 講師 慶應義塾大学保健管理センター 教授 大野 裕	184名

パンフレット・ファイル等作成

内 容	部 数
自殺対策リーフレット「生きる・つながる・ささえあう」	30,000部
自殺対策リーフレット「こころのサインに気がついて～自殺を防ぐために」	30,000部
自殺対策リーフレット「うつ病を知っていますか？」	30,000部
自殺対策ファイル	40,000部
自殺防止啓発用ボールペン	5,000本

ホームページ作成

自殺対策情報センターのホームページを設置し、県民向けに自殺予防、遺族支援のための各種講演会、相談事業等についての情報を発信した。

・人材育成(自殺対策研修)

対 象 保健所及び市町村の精神保健福祉及び自殺対策関連課の職員、精神科医療機関、社会復帰施設、障害福祉サービス事業所職員 等

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H21年12月17日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容「自殺危機初期介入スキルワークショップ」 講師 自殺危機初期介入スキル研究会認定講師 ルーテル学院大学総合人間学部 教授 福島 喜代子 ソーシャルワーカー 岡田 澄恵	22名
H22年1月18日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容「コミュニケーション研修」 講演及びワーク 「心を観て、心を聴くコミュニケーション ～自分と向き合えば、何かが変わる～」 講師 ヘルスサポート縁(えん) 代表 池田 佳子	18名
H22年1月19日 ビッグユウ (田辺市)		30名
H22年3月13日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容「自死遺族支援研修」 講演及びワーク 「自死遺族の心理とその支援方法」 講師 聖学院大学大学院教授 自死遺族ケア団体全国ネット代表 平山 正実	19名

・地域ネットワークづくり(和歌山県自殺対策情報センター専門部会)

目 的 自殺対策について、関係機関が情報交換を行うとともに、連携の強化を図ることによって自殺予防から遺族支援までの体制を整え、自殺者の減少を図る。

構成機関 22機関

内 容 ①情報交換及び連携強化
②メンタルヘルス問題への対応マニュアル作成準備

開催日 平成22年3月4日

・その他

うつ病家族教室

対 象 うつ病者の家族

開催日・会場	テーマ・講師	参加者数
H22年3月1日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容 講演及び家族交流会 「うつ病の理解と治療について」 講師 和歌山県立医科大学医学部 准教授 鵜飼 聡	3家族5名
H22年3月15日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容 講演及び家族交流会 「家族の対応について」 講師 和歌山県立医科大学医学部 准教授 鵜飼 聡	5家族7名

自死遺族支援

対 象 大切な人(家族・知人・友人)を自死で亡くした方

内 容	開 催	参加者数
自死遺族相談(臨床心理による個別相談)*再掲	全18回	延39名
自死遺族のための分かちあいの会	全6回	延27名

6 ひきこもり地域支援センター事業

(1)センターの概要

- 目的** 地域のひきこもり支援の核となる支援機関として、保健所・ひきこもり者社会参加支援センター等と連携しながら、①関係機関との連携強化、②ひきこもり支援に必要な情報発信、③一次相談窓口の充実、④人材育成を行う。
- 開設日** 平成21年8月7日
- 場所** 精神保健福祉センター内

(2)平成21年度 事業実績

・ひきこもり対策啓発

リーフレット等の作成

内 容	部 数
ひきこもり相談リーフレット「ひきこもり～ひとりで悩まないでください～」	5,000部

ホームページ作成

ひきこもり支援に関するホームページを設置し、県民向けにひきこもりに関する情報を発信した。

・人材育成(研修会)

対 象 県内ひきこもり支援従事者

(保健所及び市町村の担当職員、ひきこもり者社会参加支援センター職員等)

開催日	テーマ・講師	受講者数
H22年3月2日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容 講演及び事例検討 「ひきこもりの理解と支援 —新ガイドラインをふまえて—」 講師 山梨県立精神保健福祉センター 所長 近藤 直司	31名

・地域ネットワークづくり

教育・保健福祉・労働の主管課による連絡協議会

目 的 ひきこもり地域支援センターの活動を周知し、各関係機関がひきこもり支援に関する情報交換を行うとともに、連携強化を図ることで支援体制を整える。

構成機関 和歌山労働局、労働政策課、青少年・男女共同参画課、子ども未来課、学校指導課、障害福祉課、精神保健福祉センター

圏域担当者会議

支援体制の充実を目的に、県内8圏域で保健所と協議のうえ事業説明、情報交換等を実施した。

・その他

〈当事者支援〉

ひきこもり青年のつどい及びフリースペース

ひきこもり者や、他者との関わりに不安を持つ方を対象に集まりの場所（居場所）を提供し、コミュニケーションや相談の場を設けて、ひきこもりからの回復につなげることを目的に開催した。

対 象	県内在住で概ね16歳から40歳までの方
場 所	精神保健福祉センター プレイルーム
内 容	トランプやウノ、カード麻雀などの室内ゲームや音楽鑑賞、映画鑑賞（DVD）、塗り絵、卓球、読書などを行った。
開 催 日	毎週火曜日 13:00～16:00
回 数	全47回
参加実数	19名
参加延数	151名

〈家族支援〉

①ひきこもり家族教室

ひきこもり者の家族が孤立することなく不安を軽減し、自助機能を強化することで、家族が抱える問題の解決を目指すために全2回実施した。

対 象	ひきこもりの問題を抱える家族
場 所	精神保健福祉センター プレイルーム

	開催日	内 容	参加者数
第1回	H22年3月12日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容 講演及び意見交換会 「ひきこもり者との関わりのなかで ～社会参加への一歩に向けて～」 講師 NPO法人ハートツリー 訪問支援員 南 芳樹	8名
第2回	H22年3月19日 ビッグ愛 (和歌山市)	内容 講演及び意見交換会 「自分なりの歩み ～小さなきっかけをもとに～」 当事者からのメッセージ	10名

②ひきこもり家族のつどい

ひきこもり者の家族同士が、わかちあいや情報交換の場を持ちながら、問題の解決に向けた自助機能を高めていくことを目的に全12回開催した。

対 象	ひきこもりの問題を抱える家族
場 所	精神保健福祉センター グループセラピー室
回 数	全12回
参加実数	20名
参加延数	61名

7 こころのレスキュー隊事業

(1) 事業概要

目的 重大事案の発生による心理的な被害の拡大の防止及びストレス障害（PTSD等）の軽減を図ることを目的として、和歌山県こころのレスキュー隊を派遣し、関係者へのこころの健康管理対策を実施する現地の機関を側面から支援する。

定義 「重大事案」とは、県民の生命に関わる事件・事故及び災害で、その衝撃が学校や地域等の子どもを含んだ特定の集団全体に深刻な心理的影響を及ぼすおそれがあると和歌山県精神保健福祉センター所長が認めたものを言う。

実施主体 この事業の実施主体は、和歌山県とする。

(2) 平成21年度 事業内容

学校危機対応[クライシスレスポンスチーム(CRT)派遣業務]

学校内外で危機的な事件・事故などが突発的に発生した場合、CRTを派遣することにより、二次被害の拡大防止とこころの応急処置を行う。

災害時のこころのケア対策業務

和歌山県における「災害時のこころのケア」の体制整備を行う。

(3) 平成21年度 事業実績

①和歌山県こころのレスキュー隊隊員構成(表1)

表1 隊員構成(平成22年3月31日現在)

職 種	人 数	(内 訳)	
医師	3人	精神保健福祉センター職員	(5人)
臨床心理士	8人	センター以外の県職員	(15人)
精神保健福祉士	15人	上記以外の公務員*	(8人)
保健師	7人	その他(民間職員等)	(13人)
看護師	5人	指揮担当	(8人)
その他	3人	直接ケア担当	(27人)
計	41人	補助業務担当	(6人)

() は内数、* 国立、市町村、独立行政法人 等

②CRT派遣業務

出勤実績

表2 平成21年度 CRT出勤実績(平成22年3月31日現在)

年	回	事故・事件の概要	レベル	派遣先	日数	実人数	延人数
H21年	6	校内で生徒が溺水、搬送先病院にて死亡	II	特別支援学校	3	10人	19人

(※回)は通算出勤回数

③CRT研修会(こころのレスキュー隊隊員養成基礎研修)

隊員登録希望者の「こころの緊急支援活動」に必要な基本的知識の習得及び「こころの緊急支援活動」を関係諸機関に広く周知し、理解を深めることを目的に実施した。

開催日・会場	テーマ・講師	受講者数
H21年8月3日 ビッグ愛 (和歌山市)	講義 「ストレス障害とこころの緊急支援」 講師 和歌山県精神保健福祉センター 所長 北端 裕司	21名
H21年8月4日 西牟婁振興局 (田辺市)	講義 「二次障害とストレスマネジメント」 講師 和歌山県臨床心理士会 副会長 上野 和久 説明 「こころのレスキュー隊事業について」 講師 和歌山県精神保健福祉センター 主査 尾崎 裕美	18名

④第4回全国CRT連絡協議会

平成21年8月21日(金)、22日(土)の2日間にわたり、山口県にて、第4回全国CRT連絡協議会が開催された。CRTセミナー及びワークショップにおいて、精神保健福祉センター職員がシンポジスト等を担った。

⑤講演講師等(再掲) 平成21年度講師派遣等実績は表3のとおりである。

表3 講演講師等 派遣実績

開催日・場所	内容	講師	主催
H21年7月1日 (京都府)	京都府学校危機支援チーム創設に向けた研修	精神保健福祉センター 所長 北端 裕司	京都府教育委員会
H21年12月17日 (京都府)	京都府学校危機支援チーム発足式及び第1回研究協議会図上演習等	精神保健福祉センター 所長 北端 裕司	京都府教育委員会

⑥災害時のこころのケア対策業務

(ア)こころのケア活動マニュアル案作成

(イ)災害時のこころのケア研修会開催

災害時に起こるこころの変化と災害時の精神保健福祉の課題を理解し、和歌山県における災害時の精神保健福祉の取り組むべき課題を明らかにすることを目的に、精神保健福祉従事者をはじめ関係機関職員を対象とした研修会を開催した。

開催日	テーマ・講師	受講者数
H22年3月5日 ビッグ愛 (和歌山市)	講演 「大規模地震時におけるこころの支援について」 講師 新潟市こころの健康センター 所長 福島 昇	48名

8 精神保健福祉相談

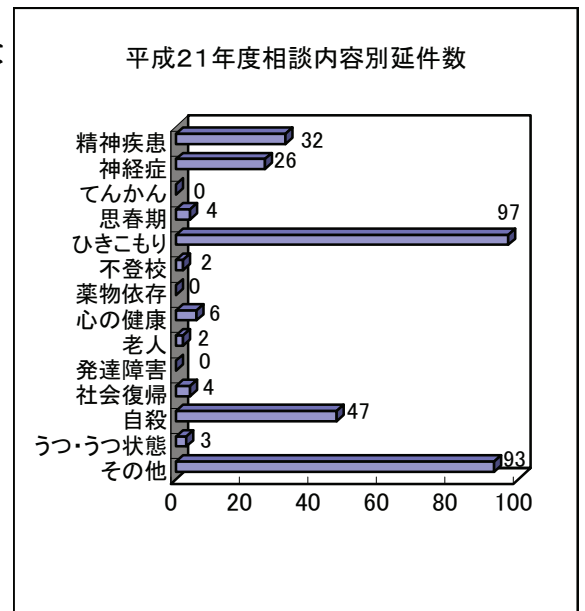
県民のこころの悩みや精神疾患等に関する健康相談を電話及び面接により実施した。所内相談は、原則として予約制で実施している。電話相談は一般回線とこころの電話専用回線とで受けている。さらに特定相談として、嘱託医による思春期・青年期相談、臨床心理士による自死遺族相談を実施している。

		延件数
所内相談		325
電話	一般	708
	こころの電話	865
	合計	1,573

(所内相談)

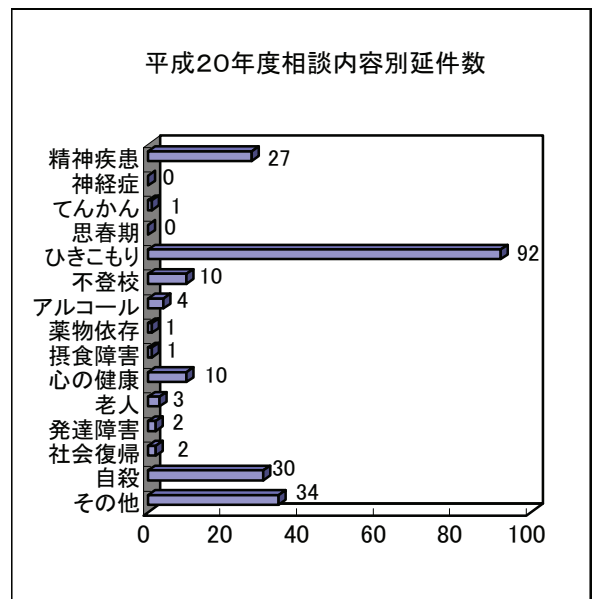
・年齢別相談件数 延件数・・・()内は実数

年齢	男性	女性	合計
0～9	0(0)	0(0)	0(0)
10代	38(11)	5(3)	43(14)
20代	78(15)	24(8)	102(23)
30代	24(15)	57(19)	81(34)
40代	42(12)	22(11)	64(23)
50代	3(3)	13(2)	16(5)
60～64	1(1)	2(2)	3(3)
65～	3(3)	4(4)	7(7)
不明	9(2)	0(0)	9(2)
合計	198(62)	127(49)	325(111)



・相談内容別男女別件数 延件数・・・()内は実数

相談内容	男性	女性	合計
精神疾患	13(12)	19(15)	32(27)
神経症	26(2)	0(0)	26(2)
てんかん	0(0)	0(0)	0(0)
思春期	0(0)	4(2)	4(2)
ひきこもり	91(18)	6(4)	97(22)
不登校	2(2)	0(0)	2(2)
アルコール	4(2)	0(0)	4(2)
薬物依存	0(0)	0(0)	0(0)
摂食障害	0(0)	5(3)	5(3)
心の健康づくり	3(3)	3(3)	6(6)
老人	0(0)	2(2)	2(2)
発達障害	0(0)	0(0)	0(0)
社会復帰	2(2)	2(1)	4(3)
自殺	1(1)	46(8)	47(9)
うつ・うつ状態	1(1)	2(2)	3(3)
その他	55(19)	38(9)	93(28)
合計	198(62)	127(49)	325(111)



(電話相談)
年代別男女延件数

年代	男性	女性	不明	計
児童	3	8	0	11
思春期	23	35	0	58
成人	663	701	6	1,370
老人	18	37	0	55
乳幼児	2	0	0	2
不明	21	32	24	77
総合計	730	813	30	1,573

保健所管内別延件数

保健所別	男性	女性	不明	計
伊都 (橋本)	18	21	0	39
那賀 (岩出)	15	17	1	33
海草 (海南)	17	42	0	59
有田 (湯浅)	19	10	0	29
日高 (御坊)	23	16	0	39
西牟婁 (田辺)	77	20	1	98
東牟婁 (串本)	7	4	0	11
(新宮)	2	15	1	18
和歌山	305	262	4	571
県内	115	191	4	310
県外	53	48	2	103
不明	79	167	17	263
総合計	730	813	30	1,573

相談内容内容別男女延件数 (重複あり)

相談内容	男性	女性	不明	計
統合失調症に関する事	224	48	0	272
感情障害に関する事	76	105	5	186
その他の精神疾患に関する事	47	52	1	100
治療について	22	60	5	87
就労について	9	12	0	21
社会復帰施設	5	2	1	8
制度について	20	18	2	40
知的・発育上の問題	2	7	2	11
教育上の問題	5	16	0	21
ひきこもり	28	16	1	45
人間関係の問題	43	117	1	161
その他の性格、行動上の問題	23	39	0	62
身体上の問題	8	25	0	33
結婚、性に関する問題	3	8	0	11
アルコール	28	5	1	34
薬物中毒の問題	1	1	2	4
ギャンブルの問題	4	1	2	7
摂食障害	2	8	0	10
老人の問題	3	7	0	10
患者 (対象者) へのかかわり方	5	11	1	17
自殺	62	32	0	94
その他	198	350	11	559
不明	0	0	0	0
合計	818	940	35	1,793

処遇状況 (重複あり)

処遇	男性	女性	不明	計
電話カウンセリング、助言	641	689	9	1,339
来所相談を勧める	4	15	0	19
情報提供、紹介	83	93	20	196
かけ直し依頼	0	1	0	1
その他	18	28	1	47
総合計	746	826	30	1,602

9 医療・福祉関係事務

精神保健福祉法第12条の規程に基づいて、和歌山県精神医療審査会は、精神障害者の人権擁護とその適正な医療及び保護を図るために設置されている。平成21年度の開催事務及び審査遂行上必要な調査、その他審査に関する事務に対する審査状況は表1の通りである。

また、精神保健福祉法第45条第1項の規程による精神障害者保健福祉手帳の申請に係る診断書の判定業務を行った。平成21年度の判定実績は、表2及び表3の通りである。

自立支援医療（精神通院）の申請に係る診断書の判定を行った。受給者証交付状況は表4に示す。

(表1) 精神医療審査会の審査に関する事務

区 分	届出等の 件数	審査 件数	審 査 結 果					取 下 げ	退院等 審査 要件の 消失	審査中	未審査
			入院等 は 適当	他の入 院形態 への移 行が 適当	入院継 続 不要	入院又 は 処遇は 不 適当	計				
医療保護入院の届出 (法第33条第1 項)	642	642	642	0	0	0	642	0	0	0	0
定期の 病状 報告書	措置入院者	5	5	5	0	0	5	0	0	0	0
	医療保護 入院者	549	549	549	0	0	549	0	0	0	0
退院の 請求	措置入院者	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _
	医療保護 入院者	(12) 12	(7) 7	(7) 7	() 0	() 0	() 0	(7) 7	(5) 5	() 0	() 0
処遇改善 請求	措置入院者	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _	() _
	医療保護 入院者	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0	() 0
計	1,208	1,203	1,203	0	0	0	1,203	5	0	0	1

(表2)

精神障害者保健福祉手帳保持者数(平成22年3月31日)

	1級	2級	3級	計
和歌山市	182	707	397	1,286
海南	80	226	170	476
海南市	70	190	153	413
紀美野町	10	36	17	63
岩出	62	199	103	364
紀の川市	37	115	53	205
岩出町	25	84	50	159
橋本	28	190	152	370
橋本市	24	147	130	301
かつらぎ町	4	29	17	50
九度山町		10	1	11
高野町		4	4	8
湯浅	34	150	71	255
有田市	16	54	31	101
湯浅町	1	31	17	49
広川町	5	13	1	19
有田川町	12	52	22	86
御坊	33	158	85	276
御坊市	15	63	37	115
美浜町	3	19	11	33
日高町	4	15	7	26
由良町	2	13	10	25
印南町	2	17	4	23
日高川町	7	31	16	54
田辺	51	243	362	656
田辺市	31	123	236	390
みなべ町	2	31	49	82
白浜町	8	54	38	100
上富田町	6	22	28	56
すさみ町	4	13	11	28
串本	30	111	79	220
古座川町	6	13	6	25
串本町	24	98	73	195
新宮	40	199	160	399
新宮市	25	135	112	272
那智勝浦町	14	52	38	104
太地町	1	7	9	17
北山村		5	1	6
県内合計	540	2,183	1,579	4,302

(表3)

精神障害者手帳交付者数(平成21年度分)

	前年度末現在	新規交付 (年度中)	転入 (年度中)	転出 (年度中)	返還 (年度中)
1級	579	51	5	0	11
2級	2,044	212	14	3	16
3級	1,405	287	5	3	14
計	4,028	550	24	6	41
	障害の等級の変更 (年度中)		年度末現在		認定更新 (年度中)
	増	減		有効期限切れ (再掲)	
1級	6	0	624	84	204
2級	29	5	2,251	68	958
3級	0	30	1,680	101	472
計	35	35	4,555	253	1,634

(表4) 自立支援医療(精神通院) 受給者証交付状況

保健所名	市町村名	症状性を含む器質性障害	中毒性精神障害	統合失調症圏	気分障害	神経症性障害	生理的要因	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞	心理的発達の障害	児童・思春期精神障害	てんかん	その他の精神障害	分類不明	計
和歌山市		52	60	1,181	783	235	9	28	6	57	10	393			2,814
海南		17	7	246	115	26		4	7	6	3	103		0	534
	海南市	15	5	209	101	22		3	6	6	3	90			460
	紀美野町	2	2	37	14	4		1	1			13			74
岩出		21	12	258	176	44	2	1	2	4	1	81		0	602
	紀の川市	11	7	157	93	26	1		2	3	1	48			349
	岩出市	10	5	101	83	18	1	1		1		33			253
橋本		33	33	428	232	18		16	10	3	2	108		0	883
	橋本市	28	25	326	179	12		12	10	2	1	84			679
	かつらぎ町	2	6	68	35	4		2		1	1	14			133
	九度山町	2	2	21	9	2		2				7			45
	高野町	1		13	9							3			26
湯浅		6	13	326	146	44	0	4	14	1	1	76		0	631
	有田市	3	3	127	56	20		1	4			28			242
	湯浅町	1	1	56	33	11		1	1		1	17			122
	広川町	2	2	42	12	2						3			63
	有田川町		7	101	45	11		2	9	1		28			204
御坊		13	17	373	176	23	1		9	5	7	47		0	671
	御坊市	3	6	143	75	11			5	4	6	17			270
	美浜町	4	1	41	19	1	1		2			3			72
	日高町	1	3	37	21	2						4			68
	由良町	2	2	55	13	6			2			9			89
	印南町	2	1	34	24	2				1	1	5			70
	日高川町	1	4	63	24	1						9			102
田辺		44	29	688	305	107	3	11	28	48	22	175		0	1,460
	田辺市	25	14	425	181	73	1	8	10	23	16	107			883
	みなべ町	1	5	68	28	5			2	4	1	10			124
	白浜町	13	6	116	59	16	1		9	7	3	35			265
	上富田町	4	2	50	26	9	1	2	6	14	1	18			133
	すさみ町	1	2	29	11	4		1	1		1	5			55
串本		1	6	146	38	29		4	2		2	13		0	241
	古座川町		1	14	7	1									23
	串本町	1	5	132	31	28		4	2		2	13			218
新宮		20	5	297	96	23	2	5	12	5	2	34		0	501
	新宮市	12	3	191	65	15	1	3	12	4	2	15			323
	那智勝浦町	6	2	80	21	7	1	2		1		17			137
	太地町	2		14	10	1						1			28
	北山村			12								1			13
合計		207	182	3,943	2,067	549	17	73	90	129	50	1,030	0	0	8,337

Ⅲ 資 料

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
和歌山県						県営住宅抽選2回(条件有)入居所得基準を優遇措置(収入月額158,000円以下)【手帳1・2級】	県営駐車場使用料の半額免除有(県立医大附属病院に受診する場合は全額免除)【手帳所持者】		県有施設について・入場料、使用料を全額又は半額免除*施設により条件有【手帳所持者】	
和歌山市保健所										
和歌山市						市営住宅抽選2回【手帳1・2級】	市営駐車場及び駐輪場を半額免除(手帳所持者が運転または同乗の場合)【手帳所持者】	福祉タクシー事業1回500円割引券年間24枚【手帳1・2級】	全額免除:ほうらい荘、市立博物館、和歌山城天守閣、市立こども科学館 半額免除:市民温水プール、市民テニスコート、市民スポーツ広場、市民会館、河南総合体育館、市民体育館、松下体育館、東公園体育館、市民球場【手帳所持者】	障害児者外出支援事業市内を運行する和歌山バス、和歌山バス那賀が月2回無料市内の公衆浴場が1回100円月2回利用できる【手帳所持者】
海南保健所										
海南市	全額助成(保険適用分)諸制限・条件あり【手帳所持者】	全額助成(保険適用分)諸制限・条件あり【手帳所持者】	施設通所交通費助成諸制限・条件あり【作業所通所者】	心身障害児福祉年金20歳未満の障害児を監護する者 4,000円/月【手帳所持者】				タクシー初乗り料金助成(チケット制)年間12回【手帳1級】	海南市のスポーツ施設(プール・体育館・運動場・テニスコート)無料【手帳所持者】	海南市デイ事業(65歳以上の人を対象としているが手帳所持者であれば65歳以下でも利用できる)海南・海草地区精神障害者家族会「紙ふうせん」への助成
紀美野町	保険適用医療費の自己負担分を助成 紀美野町重度心身障害者医療費助成制度【手帳1・2級】 【障害年金1・2級】	保険適用医療費の自己負担分を助成 紀美野町重度心身障害者医療費助成制度【手帳1・2級】 【障害年金1・2級】						・タクシー初乗り料金助成 年間12回【手帳1・2級】 ・町コミュニティバス無料【手帳所持者】	美里温泉「かじか荘」湯料金550円→350円 帳所持者及び付添者1名【手帳所持者】	海南・海草地区精神障害者家族会「紙ふうせん」への助成
岩出保健所										
紀の川市	紀の川市中心身障害児(者)医療費助成制度【障害年金1・2級】	紀の川市中心身障害児(者)医療費助成制度【障害年金1・2級】						紀の川市福祉タクシー及び自動車燃料券助成【手帳1・2級】		
岩出市	重度心身障害児者医療費助成【手帳1・2級】 【障害年金1・2級】	重度心身障害児者医療費助成【手帳1・2級】 【障害年金1・2級】		20歳未満の障害児(者)【手帳1級】 10,000円/月 【手帳2・3級】 5,000円/月				岩出市巡回バス代免除【手帳1・2級】		
橋本保健所										
橋本市								福祉タクシー利用券交付【手帳1級・18歳未満の手帳所持者】 橋本市コミュニティバス料金の割引【手帳所持者】	NPO、社会福祉法人による福祉有償運送利用【手帳所持者で、単独で公共交通機関を利用できない者】 橋本市国民宿舎紀伊見荘・橋本市自然体験施設ひこばえの里・橋本市青少年旅行村(宿泊使用料の額の2割を減額)【手帳所持者】 橋本市温水プール(心身障がい者が利用するとき5割の減免)【心身障がい者】	精神障がい者家族会への助成(団体運営費補助金)
かつらぎ町								町内巡回のコミュニティバス運賃半額【手帳1・2級】 福祉タクシー券交付(12枚/年)基本料金助成【手帳1・2級】	使用料免除:花園グリーンパーク「わんぱく広場」・小原洞窟恐竜ランド・花園恐竜館 半額免除:花園グリーンパーク交流施設「金剛の滝」・花園ふるさとセンター「合歓木」(室使用料)・志賀ふれあいの里施設「ふれあい会館」(宿泊を除く利用料金)【手帳所持者】	
九度山町										
高野町									霊宝館(拝観料無料)【手帳所持者】	

団体名	①入院医療費の助成	②通院医療費の助成	③作業所等への通所旅費の助成	④障害者福祉年金・福祉手当の支給	⑤夏季・年末見舞金等一時金の支給	⑥公営住宅入居の優先措置又は家賃の減免措置	⑦公営駐車場又は駐輪場等使用料金の減免	⑧バス、タクシー運賃等の助成(③以外)	⑨公営体育施設・文化施設等使用料金の減免	⑩その他
湯浅保健所										
有田市								タクシー基本料金相当分(年間28回以内) 【手帳1級】		市民税非課税世帯水道料金の減免 作業所への補助金 【手帳1・2級】
湯浅町									二の丸温泉(無料)【手帳所持者】	精神障害者家族会への助成 25,000円/年
広川町								福祉タクシーの初乗り運賃を助成 年間24枚のタクシー券を発行 【手帳1級】	福村の火の館(入場料半額免除) 一般 500円→250円 高校生 200円→100円 小・中学生 100円→50円 滝原温泉 ほたるの湯(入浴料金減額) 大人500円→425円 【手帳所持者】	
有田川町					有田川町重度心身障害者(児)福祉手当として年額10,000円を支給(施設入所等是非該当) 【手帳1級】			有田川町福祉タクシーとして、基本料金相当額を年間24回限度で支給【手帳1級】	有田川町かなや明恵峡温泉使用料 (1回券)大人(中学生以上)300円 小人(4歳以上～小学生以下)200円 回数券(12回数券)大人3,000円小人2,000円(6回数券)大人1,500円小人1,000円 【手帳所持者】	
御坊保健所										
御坊市		自己負担の5割を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	作業所への通所の際、公共交通機関を利用する場合、月12,000円を限度に補助【手帳所持者・障害年金受給者・自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】							
美浜町		通院医療費自己負担分の1/2を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所に係る費用の1/2を1万円を限度に助成(2kmを超える場合) 【授産施設等の通所者】	・扶養手当 月5,000円(在宅) 月4,000円(施設) 【20歳未満の手帳所持者】 ・障害者福祉手当 月2,000円(在宅)所得制限有 【20歳以上の手帳所持者】				タクシーの基本料金の助成(年間24枚) 【手帳所持者】		
日高町		通院医療費自己負担分を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	福祉共同作業所への通所、公共交通機関の利用に限る。通所経費の1/2、月額10,000円を支給。 【在宅障害児者】	月額4,000円を支給(者)に対しては所得制限あり 【(者)手帳所持者1・2級】 【(児)手帳所持者】				タクシー利用1回につき初乗り料金を助成 年間36枚 【手帳所持者1・2級】	温泉館「海の里」 使用料の一部減免(600円→510円) 【手帳所持者】	
由良町		自己負担分を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所に係る費用の1/2を1万円を限度に支給。 【手帳所持者】	(障害者)3,000円/月 但し、所得制限あり (障害児)5,000円/月 【手帳1・2級】						
日高川町		精神通院医療費自己負担分(1割分)を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】	通所に係る経費の1/2を支給する。(上限1万円) 【手帳所持者】	3,000円/月を支給(18歳以上は年収120万円未満の者に限る) 【手帳所持者】					町内温泉施設無料利用券配布(10枚/年間)【手帳所持者1・2級】 かわべ天文公園(入場料の1/2を減免)きのくに中津荘鳴滝温泉館(入浴料の1/2を減免)【手帳所持者・介助者】 美山温泉愛徳荘(入浴料無料) 【手帳所持者】	
印南町			合理的交通機関を利用実費補助(10,000円/月上限)【手帳所持者】							
田辺保健所										
田辺市		自立支援医療費(精神通院)における自己負担分を助成 【自立支援医療受給者証(精神通院)所持者】		手帳1級(20歳未満は手帳所持者)の者で、市民税非課税の者に年額28,500円を支給。 【手帳1級】		・入居抽選の際、抽選番号を2つ得ることができる。 ・入居所得基準を優遇措置収入月額158,000円以下のところ214,000円以下 【手帳1・2級】		自動車税の減免を受けしていない者にタクシー券500円×20枚を交付 【手帳1級】	田辺市立美術館・紀州備長炭発見館入館料1/2減免 【手帳所持者】	工賃が5,000円以下は利用者定率負担額を、工賃が5,000円を超える場合は工賃5,000円を超える部分の1/2に相当する金額を利用者定率負担額から差し引いた額を助成【就労支援通所者】

精神障害者に対する保健福祉施策等一覧

団体名	①こころの相談事業	②デイケア事業	③その他 3障害合同の事業等
和歌山県	各保健所単位・精神保健福祉センターで実施	各保健所単位で実施(海南保健所除く)	
和歌山市	月3回実施 (第1水曜日、第2金曜日、第4火曜日) 担当：医師	月2回実施 (第1.3木曜日) (9時30分-12時) 担当： 精神保健福祉相談員	地域生活支援ルーム(常設 月～金) 和歌山市精神障害者スポーツ大会(年1回) 和歌山市精神保健福祉市民講座(年1～2回) 家族教室(年10回) 相談(随時)
海南市			相談支援事業(随時)(精神保健福祉士等)
紀美野町			相談支援事業(精神保健福祉士) 第1火曜日(巡回相談日)及び 随時
紀の川市			相談支援事業(随時)(精神保健福祉士) 障害者就労支援施設等利用者負担金助成事業 地域活動支援センター事業(随時) 紀の川市精神障害者家族会への助成
岩出市			
橋本市			
かつらぎ町			
九度山町			
高野町			
有田市			家族会の開催(当事者も参加)月1回 (保健師)
湯浅町		月1回 保健師2～3名 (広川町と合同実施、 湯浅保健所の協力あり)	
広川町		月1回実施 保健師他(湯浅町と合同実施)	
有田川町	月1回実施(医師)	年2回実施(保健師)	H22.3.～より 年1～2回(予定) 家族会・保健師
御坊市			
美浜町			
日高町			
由良町		月1回実施 (保健師)	
日高川町		1回/2ヶ月実施 (保健師・栄養士)	
印南町		月1回実施 (保健師)	
田辺市			
みなべ町			
白浜町		月1回実施 (保健師)	
上富田町			
すさみ町		月1回実施 (保健師・支援ワーカー)	
串本町			
古座川町			
新宮市			
那智勝浦町	年6回実施 (認知症老人相談として)	月1回実施(保健師・精神保健福祉士) 6月より開始	
太地町			
北山村			

和歌山県精神保健福祉センター所報

— 平成21年度 —
(平成22年10月発行)

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319 和歌山市手平二丁目1番2号
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛2階

TEL 073-435-5194 FAX 073-435-5193

和歌山県ホームページ <http://www.pref.wakayama.lg.jp/>